

## 圧縮・解凍ツール「+Lhaca」の概要説明

- 1.+Lhacaの主な機能
- 2.インストール・アンインストール
- 3.圧縮・解凍の各操作説明

### 1.+Lhacaの主な機能

+Lhacaは、広く使われている解凍ツールLhasa同様のドラッグ&ドロップ操作によりLZH,ZIP,JARファイルの圧縮・解凍・一覧が行えるツールです。DLLが不要であることや圧縮・解凍の手順等はLhasaと同じですので、初心者でも簡単にインストールして利用することができます。

### 2.インストール・アンインストール

インストールするには、Lhaca093.exeファイルを実行して下さい。すると、インストールする場所を指定するウィンドウが開くので必要に応じて指定し、OKボタンを押して下さい。これによって、デスクトップとスタートメニューのプログラムサブメニューに+Lhaca関連のショートカットが作成されます。スタートメニューのプログラムサブメニュー内には+Lhacaのヘルプへのショートカットも作成されます。

アンインストールするにはコントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」から+Lhacaを選んで「追加と削除」のボタンを押して下さい。これにより、デスクトップとスタートメニュー内の+Lhacaへのショートカットが削除され、関連付け等も含めてインストール前の状態に戻ります。

### 3.圧縮・解凍の各操作説明

#### 基本操作（通常の圧縮・解凍作業）

基本的には**圧縮・解凍したいファイルをデスクトップ上の+Lhacaのアイコンにドロップするだけ**です。この際にLZH,ZIP,JARのファイルは**解凍**され、それ以外のファイルは**圧縮**されます。

.lzhや.zipのファイルを+Lhacaに関連付けている場合にはダブルクリックだけで解凍ができます。

解凍・圧縮の進行状況を表すバーは、解凍の場合ファイルサイズが1MB以上の時に、圧縮の場合圧縮するファイルのサイズの合計が800KB以上のときに表示されます。また、フォルダーや複数のファイルをドロップしたときには、そのファイルが全てLZH,ZIPのファイルなら全部解凍され、それ以外ならまとめて圧縮されます。

#### 自己解凍形式のファイル作成

圧縮したいファイルやフォルダーをドロップするときに**[SHIFT]キー**を押しながらドロップすると**自己解凍形式の圧縮ファイルが生成**されます。

ドロップした際に、自己解凍形式を実行したときに表示される解凍先の指定をする画面が出ますので、必要に応じて指定して下さい。何も指定しないと、自己解凍形式と同じ場所に解凍し、¥で始まらないパス名を指定すると、自己解凍形式から見た相対パスで指定した場所に解凍し、¥で始まるパス名を指定すると自己解凍形式のあるドライブの絶対パス名になり、d:¥..のように指定するとフルパス名になり、三角をクリックして出てくる一覧から選ぶと、一時フォルダー等を指定できます。

例えば一時フォルダー¥MeltTo と指定すれば、生成された自己解凍形式を

実行したときに解凍するパスは、Windows95なら大概の場合

C:\¥Windows¥Temp¥MeltTo¥ になります。

この自己解凍形式を作成すると、通常の圧縮ファイルよりもファイルサイズが12KB程度大きくなります。

### 圧縮後分割ファイル作成

[ALT]キーを押しながらファイルやフォルダーをドロップすると、圧縮後に1.2MB以下のサイズのファイルに分割し、それを復元するためのバッチファイルを作成します。圧縮後のファイルが**フロッピーディスク一枚に収まらないなどの場合に便利**に活用できます。[ALT]キーと[SHIFT]キーを同時に押しながらドロップすると、自己解凍形式を作成して、その後自己解凍形式を分割します。分割されたファイルを元の圧縮ファイルまたは自己解凍形式ファイルに結合するには生成されたバッチファイル(\*.BATと書いてありウィンドウ内に歯車の絵が書いてあるファイル)をダブルクリックして実行すれば、バッチファイルと同じ場所に分割前のファイルが復元されます。この復元作業には+Lhacaは必要ないので、復元するマシン上に+Lhacaがなくても復元が行えます。

### 解凍時パスワードが必要となるZIP形式ファイルの解凍

**パスワード付きのZIPファイル**をドロップするとパスワードの入力を促す画面が出るので、**パスワードを正しく入力すれば解凍**が行われます。

(パスワードを間違えた場合には、解凍するファイル一個につき三回までパスワードの再入力ができます。)

### 解凍・圧縮時のファイル内の一覧

ファイルをドラッグ&ドロップあるいはダブルクリックする際に[CTRL]キーを押しながら行くと**ファイルを解凍・圧縮する際にその中身を一覧**することができます。(但しダブルクリックの場合、選択してからダブルクリックすると一回目のクリックで選択が外れてしまうので何回かダブルクリックを繰り返す必要があります。)この状態では、ファイルの拡張子ではなく中身を見て圧縮すべきか解凍すべきか判断するので、自己解凍形式や、拡張子が間違っている圧縮ファイルでも正しく処理できます。複数のファイルをまとめてドラッグ&ドロップしたときには一度拡張子を元に圧縮すべきか解凍すべきかを判別し、解凍の場合には中身を一覧表示します。また、この画面では、圧縮ファイルの中のファイルの部分的な解凍やファイルの追加・削除なども行えます。